

愛知民報

2019年
3月24日
第2438号

発行所 愛知民報社
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月400円 郵送料164円 1部100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊
愛知民報を
周りの人に



<写真上>日本共産党の躍進を訴える(左から)すやま初美参院愛知選挙区候補、しもおく奈歩県議、田村智子副委員長、豊橋市議候補など統一地方選の候補者=16日、豊橋駅前
<写真下左>(左から)大村よしのり、きまた昭子両県議候補と田村氏=16日、東岡崎駅前 <写真下中>共産党への支持を訴える(左から)笠井亮党政策委員長、すやま候補、いたくら正文県議候補、一宮市議選候補者=17日、一宮市 <写真下右>(左から)すやま候補、内田けん県議候補、笠井氏=17日、春日井市

安倍悪政 消費税10%・国保値上げ・9条改憲 共産党躍進ではね返そう

志位和夫委員長
3月30日(土)
午後2時20分 豊橋駅
午後4時10分 東岡崎駅

小池晃書記局長
4月4日(木)
午後1時30分 春日井・勝川駅
午後3時20分 尾張一宮駅
午後5時30分 西区・上小田井駅

大激戦・大接戦 統一地方選 当落線上

愛知県議選・名古屋市議選の告示29日は目前。今回の統一地方選挙は夏の参院選に連続し、くらしと平和、日本の命運がかかる歴史的な選挙です。日本共産党の候補者が立つ選挙区は、「自公対共産」の対決を軸に大激戦。本紙記者が選挙情勢を語り合いました。

共産党が焦点

A 志位和夫委員長 加えて、安倍自公政権から共産党幹部が相次いで愛知入りしている。大幅値上げ計画の阻止を訴えた。

B 志位委員長は9日名古屋、田村智子副委員長が16日豊橋と岡崎、笠井亮政策委員長が17日に春日井、一宮を回った。

C どこでも「日本共産党を躍進させて、安倍政治にサヨナラを」の訴えに熱い拍手が沸いている。共産党の対話・支持拡大活動でも、「安倍やめさせて」が共通の声だ。

消費税、国保

A 志位さんは、消費税10%増税、改憲に

B 共産党は13日から17日まで「消費税10%増税中止・国保料引き下げを」列島騒然大行動をおこなった。県内では約1600カ所で街頭宣伝がやられ、10万枚のビラを配布したそう。

C 有権者は、統計不正、沖縄基地強行、消費増税、憲法改悪、民意無視の安倍政権への審判の場を求めている。安倍政治と対決する日本共産党への期待と注目があるね。

記者座談会

A 前回の愛知県議選や名古屋市議選で日本共産党は躍進した。その力で、福祉・教育の拡充、議会の民主化など抜群の実績をあげている。共産党議席の役割、値打ちは際立っている。

B 先日の知事選では、日本共産党推薦のくれまつ候補がオール与党の大村知事を相手に大善戦した。知事選と同日投票の定数1の小牧市議補選では、日本共産党の山田みよ子さんが当選した。

C 国保料値下げ、18歳までの医療費無料、学校給食無料化、県立高校エアコン代の公費負担化、巡回バス拡充など日本共産党の統一地方選政策に住民の共感が寄せられている。全国第2位の愛知の財政力を生かせば、くらし・福祉充実はできる。

総決起

A 日本共産党は、勝利の力ぎは全支部・全党員の総決起、総力の発揮だと訴えている。地方選挙でも政党選択の傾向が強まっている。「比例を軸」にして「850万票、得票率15%以上」の得票目標に挑戦することが大事だ。

B 選挙期間中の3月30日には志位和夫委員長が、4月4日には小池晃書記局長が愛知に入り、激戦突破へ大攻勢をかける。